

平成26年度スーパーグローバルハイスクール構想の概要

指定期間	ふりがな	しょうわじょしだいがくふぞくしょうわこうとうがっこう				②所在都道府県	東京都
26～30	① 学校名	昭和女子大学附属昭和高等学校					
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	1年	2年	3年	4年	計	第1学年 226名 第2学年 222名 第3学年 246名	
普通科	226名	222名	246名		694名		
⑥研究開発構想名	大学や実社会と連動させたデュアルグローバルプログラム						
⑦研究開発の概要	昭和女子大学と連携して女性のキャリア形成上の国際的課題を研究テーマとする「①プロジェクト研究」、リーダーに必要な国際的教養を深める「②グローバルプログラム」、信頼され協働できる人間性を磨く「③自己発見プログラム」の3つのプログラムを、正課カリキュラムと並行して構築することで、グローバル・リーダーとして活躍できる女性人材育成プログラムを開発する。						
⑧研究開発の内容等	⑧-1全体	<p>(1) 目的・目標 大学・企業と連携し、実社会でグローバルに活躍できる女性リーダーを育成するプログラムを構築する。多面的なプログラム開発により、生徒の国際的素養、国際的教養、人間性を磨き、将来国際的にリーダーとして活躍できるグローバル人材を育てる。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説 本校の教育目標とするグローバル・リーダー像と伸ばすべき資質（育成課題）として「国際的素養」「国際的教養」「人間性」を定めてそれぞれの資質を伸ばす3つの仮説を立てた。</p> <p>(3) 成果の普及 研究発表会の開催、研究開発報告書の作成、文化祭や学校説明会での紹介、学校案内への記載、学校ホームページにサイトを作成、保護者会で発表、研究報告会等への参加により研究成果の普及を行う。</p>					
	⑧-2課題研究	<p>(1) 課題研究内容</p> <p>A. 国際的素養とキャリアデザイン力の育成 女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクト 国際的素養とキャリアデザイン力を育成するため「女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクト」に取り組み、女性のグローバル・リーダーに必要な国際的素養とキャリアデザイン力を育成する。</p> <p>課題解決プロジェクトテーマ具体例</p> <p>① 『企業や個人で活躍する女性グローバルリーダーの研究』 グローバルに事業を展開する企業（富士ゼロックス）で働く女性社会人をモデルに、企業のしくみ、仕事への取り組み、抱える課題を知り、どのようにすれば、よりグローバルにキャリアをデザインできるかを研究し、提言する。</p> <p>② 『日本人女性のジェンダーギャップの研究』 グローバルな社会課題である日本人女性のジェンダーギャップの現状を知り、専門家の指導を受けながら、その課題を克服し、女性がグローバルにキャリアデザインを形成する方法を研究し、提言する。</p> <p>③ 『海外で活躍する女性リーダーの研究』 カンボジアの支援のため、現地でクッキーやハーブ等の工場を起業し、現地の方たちの雇用機会を増やして、持続的に経済的自立を支える日本人女性グローバル・リーダーの仕事に密着する。そこから途上国支援の方法を体得し、提言する。〔カンボジア研修を実施〕</p> <p>④ 『途上国女性の社会進出課題』 バングラディッシュ、タイ、ラオスで因習や宗教により、社会的な弱者となっ</p>					

		<p>ている女性たちの現状・問題点を知り、専門家の指導を受け、途上国女性のキャリアデザインのために支援できることを研究し、提言する。〔タイ海外研修を実施〕</p> <p>B. サービスラーニングによる人間性の涵養 キャリア形成に対する主体的な意欲をもち、女性のキャリアビジョンを考えることでグローバル・リーダーとして必要な人間性を育む。生徒が地域社会やグローバルな社会のために有益な活動を行う社会貢献活動（サービス）と学習（ラーニング）を結びつけた活動を行う。女性としての立場と関連の深いテーマについて、自分のキャリア形成につながる社会貢献活動を考え、実践する。</p> <p>(2) 方法・検証評価</p> <p>A. 国際的素養とキャリアデザイン力の育成 <u>女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクト</u> 第1学年30名程度のスーパーグローバル（SG）グループを編成し、さらに課題解決プロジェクト研究テーマごとに小グループ（LABO）に分けて課題研究に取り組む。各テーマに応じて大学教員や企業人の指導を受け、プロジェクト型研究を進める。研究成果を国内外において英語でも発表して評価を受ける。研究活動で身につけた国際的素養についても客観的かつ多面的に検証する。</p> <p>B. サービスラーニングによる人間性の涵養 女性のキャリア形成に関わるボランティア活動などで関わった諸機関へのアンケートやヒアリング調査による他者評価を得る。プログラムへの参加により「人の役に立つことがうれしかった」「主体性・責任感・忍耐力・ホスピタリティといった人間性が磨かれた」「自己肯定感や社会参加意欲が高まった」など、生徒の変容をヒアリング調査での分析やGlobal Handbook（年間の学習や活動を記録する学習ポートフォリオ）による「自己評価」により検証する。</p>
<p style="text-align: center;">⑧ -3 上記 以外</p>		<p>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価</p> <p>A 高大連携グローバルプログラム グローバルなテーマで、外部講師によるオムニバス授業や講演会等を行い、生徒の国際的教養を深める。女性としてどのように社会貢献していくかというキャリアデザインを構築する機会を与える。各プログラムの有効性を検証しながら、生徒の国際的教養について客観的かつ多面的に評価する。</p> <p>B 自己発見プログラム 体験型宿泊プログラム、体験型ワークキャンプなど様々なプログラムに参加して、キャリア形成に対する主体的な意欲をもち、女性のグローバルキャリアビジョンを考えることでグローバル・リーダーとして必要な人間性を育む。連携した諸機関の他者評価を受け、自己肯定感、有用感を伸ばす。生徒の変容を客観的かつ多面的に検証する。</p> <p>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等 本校の五修生制度（第3学年次に科目等履修生として併設大学で学び、学校外学修として高等学校の単位を認定する制度）を発展させた「グローバルコース（新五修生制度）」を創設する。第3学年次をグローバル・リーダー育成に効果の高いとされるギャップイヤーとして併設大学の海外分校「昭和ボストン」を拠点とした留学プログラムを組み、高大連携の大学準備教育を行う。</p>
<p>⑨その他 特記事項</p>		<p>ユネスコスクールに認定され（2012年）、全てのカリキュラムで持続可能な開発のための教育活動（ESD）を行っている。</p> <p>英国短期留学プログラムがあり、高校生の希望者が3月にホームステイを中心としたプログラムに参加している。</p>

ふりがな	しょうわじょしだいがくふぞくしょうわこうとうがっこう	指定期間	26～30
学校名	昭和女子大学附属昭和高等学校		

平成26年度スーパーグローバルハイスクール 目標設定シート

1. 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）								
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
自主的に社会貢献活動や自己研鑽活動に取り組む生徒数								
a	SGH対象生徒:			人	人	人	人	700人
	SGH対象生徒以外:		115人	131人	人	人	人	人
目標設定の考え方: 校外でのボランティア活動に自主的に参加した生徒数								
自主的に留学又は海外研修に行く生徒数								
b	SGH対象生徒:			人	人	人	人	100人
	SGH対象生徒以外:		71人	59人	人	人	人	人
目標設定の考え方: 海外の高校に1年間留学および短期留学プログラムに参加した生徒数								
将来留学したり、仕事で国際的に活躍したいと考える生徒の割合								
c	SGH対象生徒:			%	%	%	%	70%
	SGH対象生徒以外:		%	31.90%	%	%	%	%
目標設定の考え方: 将来留学したり、仕事で国際的に活躍したいと考えている生徒の割合。								
公的機関から表彰された生徒数、又はグローバルな社会又はビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における入賞者数								
d	SGH対象生徒:			人	人	人	人	50人
	SGH対象生徒以外:		6人	7人	人	人	人	人
目標設定の考え方: 公的機関でのスピーチ・作文コンテストなどに参加し、表彰を受けた生徒数								
卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベル(英検2級～準1級・TOEFL57点程度以上)の生徒の割合								
e	SGH対象生徒:			%	%	%	%	70%
	SGH対象生徒以外:		22.40%	34.30%	%	%	%	%
目標設定の考え方: 高校3年生12月末現在における英語検定2級以上の取得率(1月受検分は可否が出ていないので未集計)								
併設大学との連携によるギャップイヤープログラム(グローバルクラス)に進学する生徒の人数								
f	SGH対象生徒:							5人
	SGH対象生徒以外:		0人	0人				
目標設定の考え方: 本構想により高大連携のギャップイヤープログラムを進路選択した人数								

1' 指定4年目以降に検証する成果目標								
	24年度	25年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	目標値(30年度)
文部科学省が支援する国際化に重点を置く大学へ進学する生徒の割合								
a	SGH対象生徒:		%	%	%	%	%	25%
	SGH対象生徒以外:		9.90%	18.30%	%	%	%	%
目標設定の考え方:「グローバル人材育成推進事業」「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」「大学の世界展開力教科事業」に採択された大学へ進学する生徒数(25年度は最終的な進学先が未決定のため合格者数の割合)								
海外大学へ進学する生徒の人数								
b	SGH対象生徒:		人	人	人	人	人	20人
	SGH対象生徒以外:		3人	4人	人	人	人	人
目標設定の考え方:海外の大学へ進学する生徒数								
SGHでの課題研究が大学の専攻分野の選択に影響を与えた生徒の割合								
c	SGH対象生徒:		%	%	%	%	%	100%
	SGH対象生徒以外:		-	-	%	%	%	100%
目標設定の考え方:SGHでの課題研究が大学の専攻分野の選択に影響を与えた生徒の割合								
大学在学中に留学又は海外研修に行く卒業生の数								
d	SGH対象生徒:		人	人	人	人	人	100人
	SGH対象生徒以外:		-	-	人	人	人	人
目標設定の考え方:大学在学中に留学または海外研修に行く卒業生の数								

2. グローバル・リーダーを育成する高校としての活動指標（アウトプット）								
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
a	課題研究に関する国外の研修参加者数							
	人	0人		人	人	人	人	50人
	目標設定の考え方: 女性のグローバルキャリアデザインに関する課題への取り組みとして、途上国等への海外研修に参加した生徒数							
b	課題研究に関する国内の研修参加者数							
	人	0人		人	人	人	人	100人
	目標設定の考え方: 女性のグローバルキャリアデザインに関する課題への取り組みとして国内研修に参加した生徒数							
c	課題研究に関する連携を行う海外大学・高校等の数							
	校	0校		校	校	校	校	5校
	目標設定の考え方: 課題研究を進めるうえで、連携している海外の大学または高校等の数。							
d	課題研究に関して大学教員及び学生等の外部人材が参画した延べ回数(人数×回数)							
	人	0人		人	人	人	人	150人
	目標設定の考え方: 課題研究に関して、大学教員及び学生等の外部人材が参画した延べ回数							
e	課題研究に関して企業又は国際機関等の外部人材が参画した延べ回数(人数×回数)							
	人	0人		人	人	人	人	150人
	目標設定の考え方: 課題研究に関して企業または国際機関等の外部講師を招いての授業または講演会の数。							
f	グローバルな社会又はビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における参加者数							
	人	3人		人	人	人	人	70人
	目標設定の考え方: グローバルな社会またはビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における参加者数							
g	帰国・外国人生徒の受入れ者数(留学生も含む。)							
	64人	115人		人	人	人	人	300人
	目標設定の考え方: 海外からの留学生および交流プログラムに参加した外国人生徒数							
h	先進校としての研究発表回数							
	回	0回		回	回	回	回	2回
	目標設定の考え方: 研究課題に関する研究発表会の実施回数							
i	外国語によるホームページの整備状況							
	○整備されている △一部整備されている ×整備されていない							
		×						○
	目標設定の考え方: 外国語によるホームページが作成されている。							
j	英語以外の授業を英語で行うイマージョン授業の開設科目数							
	0科目	0科目						5科目
	目標設定の考え方: 数学・物理・芸術の授業を英語で行う授業の開設科目数							

<調査の概要について>

1. 生徒を対象とした調査について

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全校生徒数(人)	685	681		0	0	0	0
SGH対象生徒数							
SGH対象外生徒数							